



SOUNDLOOK

CDステレオラジカセ

型番 **SAD-4935**

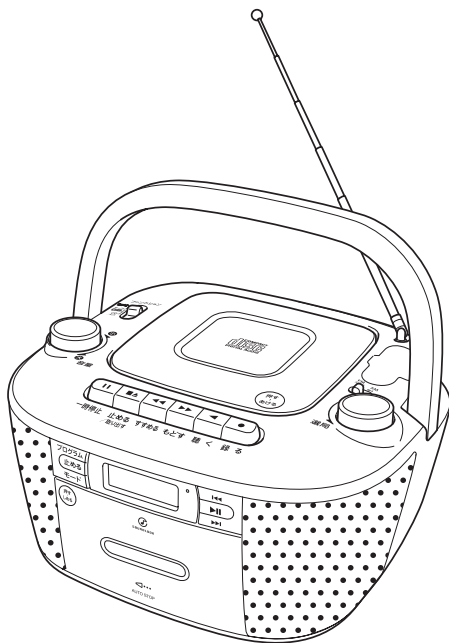
家庭用

日本国内専用  
Use only in Japan

# 取扱説明書

(保証書別途添付)

このたびはサウンドルックCDステレオラジカセをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。商品を安全に正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



## 目次

安全上のご注意	1~3	内蔵マイクから録音する	13
ご使用になる前に	4	CDから録音する	14
各部のなまえ	5、6	ラジオから録音する	14
電源について	7	外部音声機器を聴く	15
家庭用電源で使うには	7	市販のヘッドホン/イヤホンで聴く	15
乾電池で使うには	7	お手入れのしかた	16
CDを聴く	8~10	本体のお手入れ	16
ディスプレイの表示について	9	レンズのお手入れ	16
リピート/ランダム演奏	9	カセットのお手入れ	16
プログラム演奏	10	仕様	17
ラジオを聴く	11	故障かな?と思われるときは	18、19
テープを聴く	12	アフターサービスについて	20
オートストップ機構について	12	お客様の個人情報の取り扱いについて	21
録音する	13	お客様相談窓口	21

小泉成器株式会社

# 安全上のご注意

\*ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

\*ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



**警告**

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



**注意**

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

## 絵表示例と絵表示の意味



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

# 安全上のご注意

## 警告

煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください

本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない  
事故や故障の原因となります。



電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない

火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。



電源はAC100V専用コンセントを使用する  
(日本国内専用)

火災・感電の原因となります。

本体の通風孔、カセットホルダー、CDの挿入口などから金属類や燃えやすいものを差し込んだりしない

お子様のいるご家庭では特にご注意ください。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

電源コードが破損して火災・感電の原因となります。



電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本体の下敷きにならないようにする  
電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。

万一、本体を落としたり、破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

雷が鳴ったら、機器の金属部や電源プラグに触れない また屋外で使用しない

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。

使用しているときはすぐに機器から離れてください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



# 安全上のご注意

## ⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。



油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなる場所に置かない

本体の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。異常に温度が高くなる場所、直射日光の当たる高温の場所（自動車内など）には置かないでください。



電源コードを熱器具に近付けない

電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない（CD部）

レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。

指定以外の乾電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない

乾電池の破損・液もれにより、火災・ケガの原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する  
接続は指定のコードを使用する

乾電池のプラス・マイナスは正しく入れる  
乾電池の発熱・破裂、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は幼児の手の届かないところに保管する  
万一飲み込んだ場合にはただちに医師とご相談ください。



はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いておく

火災の原因となることがあります。



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う

接続コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときや家庭用電源で使用するときは、乾電池を取り出しておく

乾電池の液もれて回路がショートし、火災・ケガ・汚損の原因となることがあります。



持ち運びするときは、アンテナをたたむ

伸ばしたまま持ち運びするとアンテナが引っかかったり、当たるなどしてケガの原因となることがあります。




幼児がカセットホルダー、CD挿入口に、手を入れないように注意する

ケガの原因となることがあります。

# ご使用になる前に

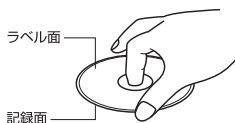
## CDについて

### CDの種類

-  マークの入ったディスクをご使用ください。
- CD-R/RWの場合は、CD-DA(Compact Disc Audio)フォーマットで記憶されたディスク(ファイナライズされたもの※)を再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。  
※音楽用CD-R/RW再生対応機器で再生できるように処理すること。
- コピーコントロールCDやCD規格外の特殊形状ディスクを使用される場合、再生・音質の保証はしかねます。

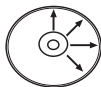
### CDの取り扱い

※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へとふき取ってください。

※記録面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベルがはがれたCDは使用しないでください。



### ご注意

円形以外(ハート型など特殊形状)のディスク、ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

## カセットテープについて

- 90分を超えるテープの使用はおやめください。他のテープに比べ非常に薄いため、テープが伸び、回転部分に巻き込まれやすくなります。
- 使用前にテープのたるみを取り除いてください。テープが機械に巻き込まれることがあります。
- 録音にはノーマルポジションテープをお使い下さい。ハイポジション、メタルポジションテープでは、録音済みテープに録音すると、前に録音した内容が消去されず重なって録音されますので、再生しても正常に聞き取れません。また未使用のテープに録音しても十分に性能を発揮できません。



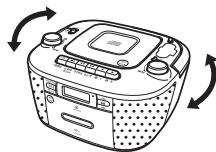
- エンドレステープは使用できません。

## 設置場所について

ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

### AM放送の場合

本体を動かし、もっとも良く聞こえるところに設置してください。(アンテナは本体内置)



### FM放送の場合

アンテナを伸ばし、もっとも良く聴こえる方向に向けてください。



### ご注意

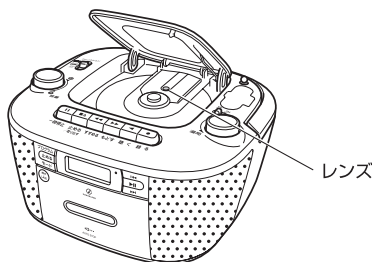
● 次のような場所では使用・保管しないでください。

- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
- ちりやほこりなどの多い場所。
- 風呂場など湿気の多い場所。
- テレビやチューナーなどのそば。  
雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。
- 温度が低い環境で操作されますと、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使用してください。
- キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。
- レンズにほこりがつかないように使用しないときは、CDドアを開けておいてください。またレンズにはさわらないようにしてください。
- 本体の分解・改造は絶対にしないでください。

## 結露について

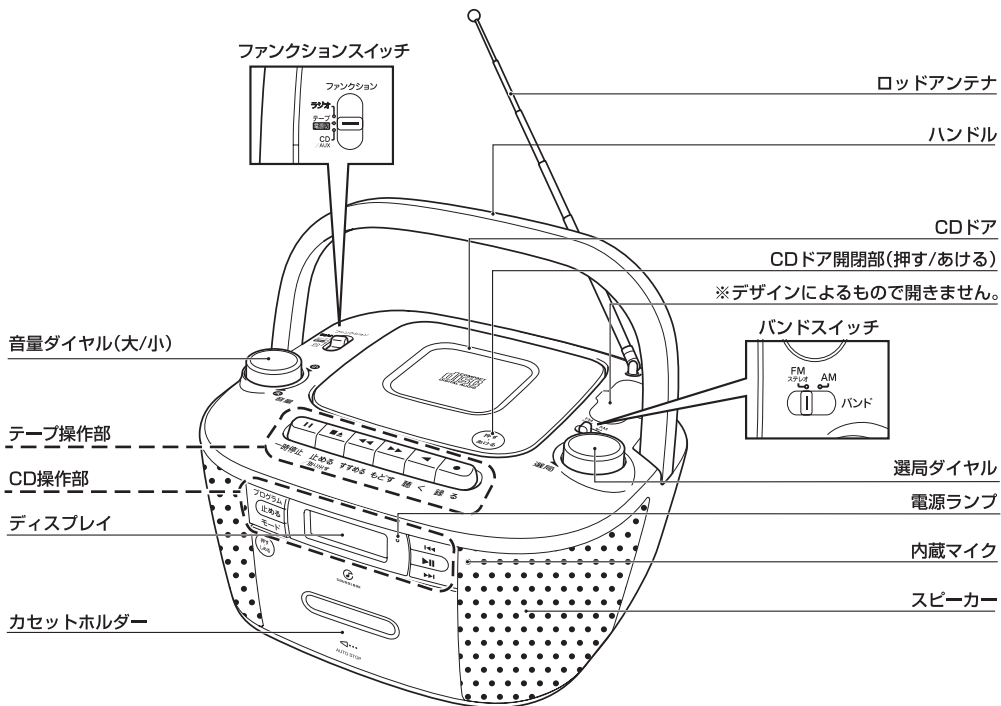
周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。レンズに水滴がついた状態では正しく演奏できません。

このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1～2時間たってから使用を開始してください。

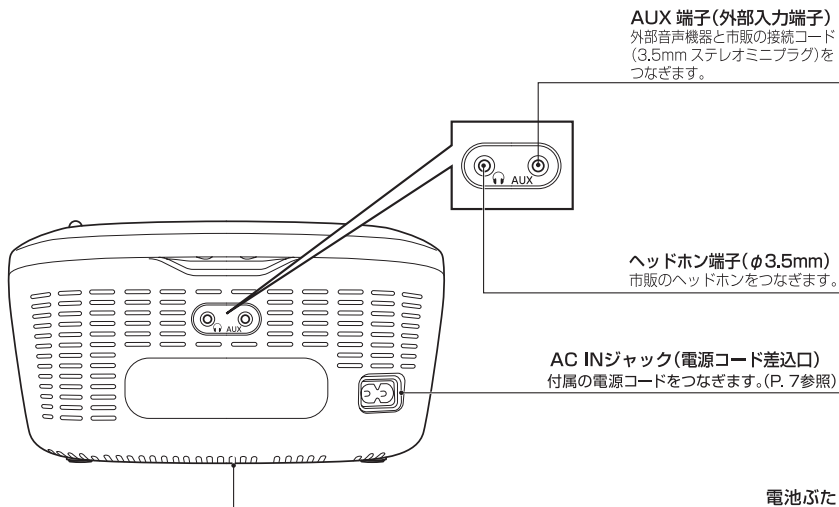


# 各部のなまえ

## 本体



## 背面



# 各部のなまえ

## テープ操作部

「すすめる(◀◀)」ボタン

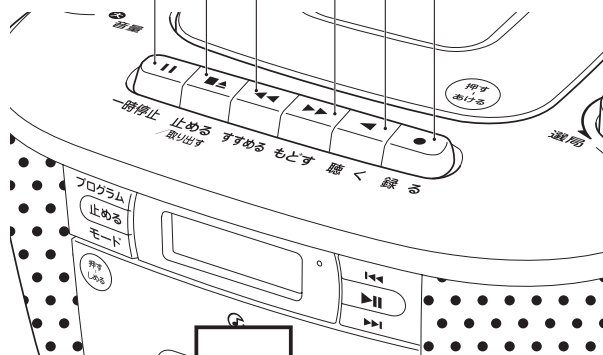
「もどす(▶▶)」ボタン

「止める/取り出す(■▲)」ボタン

「聴く(◀)」ボタン

「一時停止(II)」ボタン

「録る(●)」ボタン



## CD操作部

「プログラム」ボタン

「スキップ/サーチ(◀◀)」ボタン

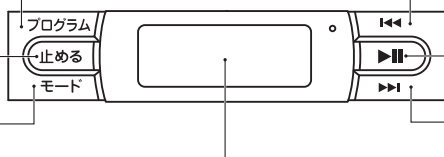
「止める」ボタン

「聴く/一時停止(▶▶)」ボタン

「モード」ボタン

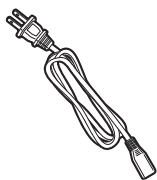
「スキップ/サーチ(▶▶)」ボタン

ディスプレイ



## 付属品

※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。



電源コード



取扱説明書 (本書)



保証書

# 電源について

## 家庭用電源で使うには

1. 電源コードの供給プラグを本体のAC INジャックへ差し込む。
2. 電源プラグをコンセントへ差し込む。
  - ファンクションスイッチが [テープ電源切] になっていることを確認する。



1. 本体背面の「AC INジャック」へ

付属の電源コード

※付属の電源コードはSAD-4935専用です。他の製品には使用しないでください。

※使用中、熱くなることがありますが異常ではありません。

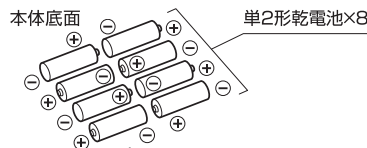
### ご注意

- 電源コードを抜き差しするときは、ファンクションスイッチを [テープ電源切] にしてから行ってください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。
- 電源コードの上に重いものをのせないでください。電源コードに傷がついて、火災や感電の原因となります。

## 乾電池で使うには

※本体から電源コードを取り外してください。

1. 電池ぶたを開ける。
2. 単2形アルカリ乾電池8本(別売)を図のように入れ、電池ぶたを閉める。



### ご注意

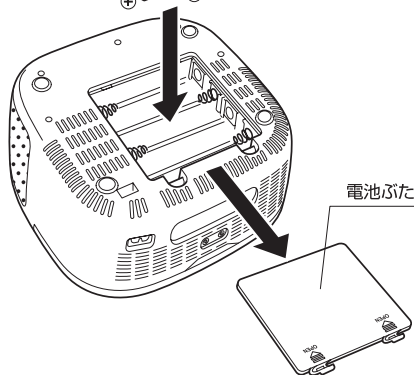
乾電池の破損・液もれ防止のために次のことをお守りください。

- 長期間使用しないときや家庭用電源で使用するときは、乾電池を取り出しておく。
- 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄する。
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れる。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしない。

### 乾電池の交換目安

乾電池が消耗してくると、CDやテープが正常に動作しない、音が小さくなる、雑音が多くなるなどの現象が生じます。




このようなときは新しい乾電池と交換してください。





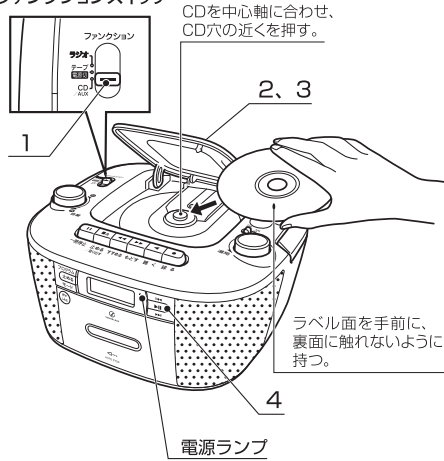
# CDを聴く

※CDドア内部にCDレンズ保護シートがはめられています。  
ご使用前に保護シートを取り外してください。

1. ファンクションスイッチを [CD/AUX] にする。  
 ● 電源ランプが点灯します。
2.  を押してCDドアを開け、CDをセットする。
3.  を押さえて、CDドアを閉める。  
 ● 総曲数が表示されます。  
 ● CDドアを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
4.  を押す。  
 ● 1曲目から演奏が始まります。  
 ● 全曲演奏が終わると自動停止します。

















## ファンクションスイッチ



## ご注意

- 本機は、CD-R/RW録音機器で作成した音楽用CD-R/RWディスクの再生も可能です。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- CD-R/RWを入れた場合、演奏できる状態になるまで15秒前後かかります。
- コピーガード付のCDは再生できない場合があります。
- 直接音楽ファイルを記録したディスク (MP3ディスクやWMAディスク等) は再生できません。

音量を調節する	 音量ダイヤルを回す。 音量	
演奏を止める	 を押す。	曲の頭を探す (スキップ)
一時を停止する	 を押す。 ● 演奏に戻るにはもう一度押す。	演奏中/一時停止中に   を押す。
早送りをする 早戻しをする	演奏中/一時停止中に   を押し続ける。 ● 演奏に戻るにはボタンから指を離す。   …早送りになります。  …早戻しになります。	停止中に   を押して曲の頭出しをした後、  を押す。   …演奏中の曲の、次の曲の頭出しになります。  …演奏中の曲の、前の曲の頭出しになります。

# CDを聴く

## ディスプレイの表示について

ディスプレイに「No」「Err」が表示される場合、以下の項目を確認してください。

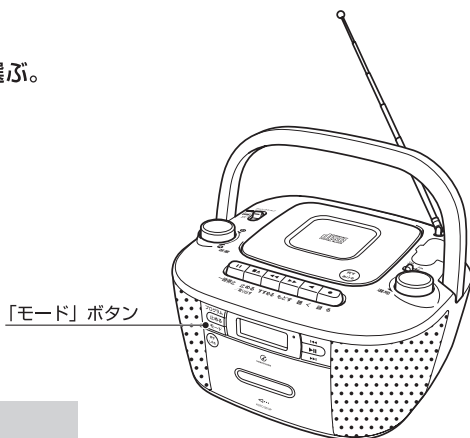
- CDが正しくセットされていますか？
- CDの裏表を間違えていませんか？
- レンズが汚れていませんか？(P. 16参照)
- CDが汚れたり、傷ついていませんか？
- 使用できないCDを挿入していませんか？(P. 4参照)

## リピート/ランダム演奏

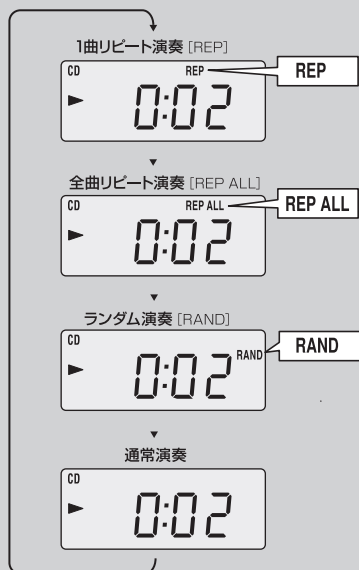
演奏中／一時停止中／停止中に

**モード** を押して再生モードを選ぶ。

- 押すごとに再生モードが変わります。



### 〈ディスプレイ〉



- 1曲リピート演奏 [REP] …………… お好みの1曲を繰り返し演奏します。
- 全曲リピート演奏 [REP ALL] …… 全曲を繰り返し演奏します。
- ランダム演奏 [RAND] …………… 全曲を順不同で演奏します。

# CDを聴く

## プログラム演奏 (お好みの曲を予約順に聴く)

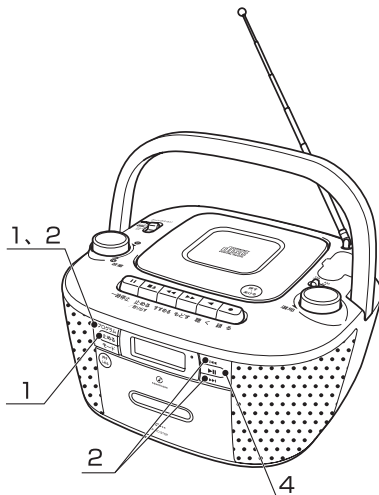
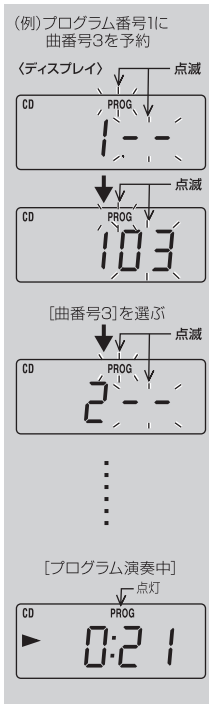
停止中に

1. **止める** を押した後で、**プログラム** を押す。

2. **II** **III** で  
お好みの曲を選び、**プログラム** を押す。

3. 上記2の操作を繰り返し、  
予約していく。  
• 最大20曲まで予約できます。

4. **II** を押す。  
• プログラム演奏が始まります。



プログラム内容を  
確認する

プログラム演奏中に

1. **止める** を押す。  
• プログラム数が表示されます。



2. **II** **III** を押す。  
(押すたびに予約順にプログラム内容が表示されます。)  
※再びプログラム演奏に戻るには  
**II** を押す。

プログラム演奏を  
終了する

プログラム演奏中に

**止める** を押す。

(プログラム内容は保持)

※保持されたプログラム内容を再度演奏する  
場合は、**II** を押す。

プログラム演奏を  
解除する

**止める** を2回押す。

ファンクションスイッチを  
[テープ **電源切**]または[ラジオ]に  
切り換える。

# ラジオを聴く

## 1. ファンクションスイッチを[ラジオ]にする。

- 電源ランプが点灯します。

〈ディスプレイ〉



## 2. バンドスイッチで[FMステレオ]または[AM]を選ぶ。

## 3. 選局ダイヤルでお好みの局を選ぶ。

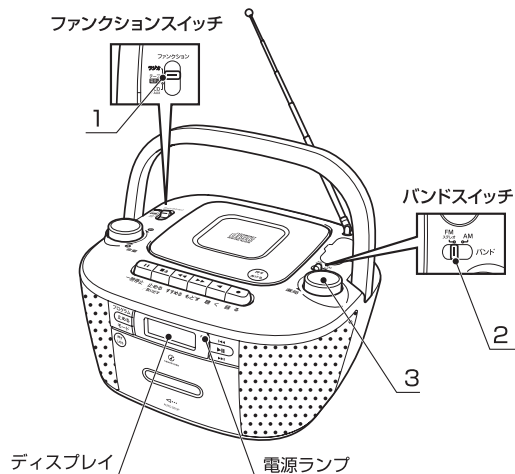
ディスプレイの表示



バンド表示部

選局周波数

- バンドスイッチで[FMステレオ]を選択時、FMステレオ放送を受信すると、「ST」を表示します。



雑音が多い場合

アンテナの向きを変えたり、本機の位置を窓際に移動することで、雑音が少ない場合があります。

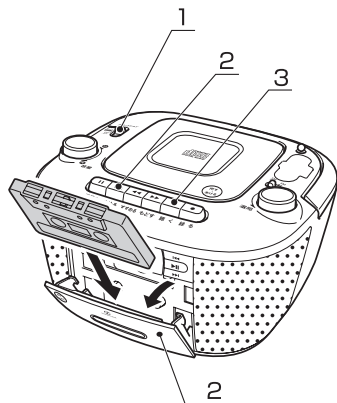
ラジオを切るとき

ファンクションスイッチを[テープ **電源切**]にする。

# 1 テープを聴く

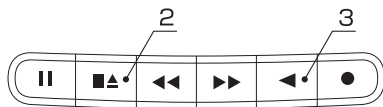
※ノーマルテープ(TYPE1)をお使いください。

1. ファンクションスイッチを [テープ 電源切]にする。
2. テープ操作部の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。
  - カセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
3. テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンを押す。
  - 電源ランプが点灯します。
  - 演奏が始まります。
  - 全曲演奏が終わると自動停止します。



## ご注意

- カセットテープ自体の回転が重たい場合にはデッキのピンチローラーにテープが絡む場合がありますので次のような時にはご注意ください。
  - ・カセットテープケースに歪みや変形がある場合
  - ・長年の使用でテープの劣化し、テープに波打ち伸びがある場合
  - ・寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだためテープ全体に結露した場合
  - ・テープがひどく汚れ回転が重い場合など



一時停止 止める すずめる もどす 聴く 録  
/取り出す

## テープ操作部

音量を調整する	<p>音量ダイヤルを回す。</p>	<p>早送り・早戻しをする</p> <p>テープ操作部の「すすめる(◀◀)」ボタンまたは「もどす(▶▶)」ボタンを押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●演奏に戻るときは「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してから「聴く(◀)」ボタンを押す。</li> </ul>
演奏を止める	<p>テープ操作部の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押す。</p>	
一時停止をする	<p>テープ操作部の「一時停止(⏸)」ボタンを押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●演奏に戻るときは「一時停止(⏸)」ボタンを押す。</li> </ul>	

**ご注意**

- 「すすめる」または「もどす」中に「聴く(◀)」ボタンを押さないでください。テープが回転部に巻き込まれる恐れがあります。必ず「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してから「聴く(◀)」ボタンを押してください。
- テープ操作部の「すすめる(◀◀)」ボタンまたは「もどす(▶▶)」ボタンでテープが最後まで巻き取られたら、「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押して解除してください。

## オートストップ機構について

再生状態のとき、テープが最後まで巻き取られるとテープ操作部の「聴く(◀)」ボタンが自動的に停止し、電源が切れるようになっています。

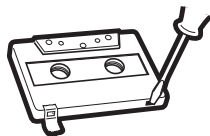
# 録音する

## ご注意

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、著作者に無断では使用できません。
- テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押すとテープ操作部の「聴く(◀)」ボタンも一緒に押し込まれます。テープが入っていないときや、カセットテープの消去防止用のツメが折れているとき、「録る(●)」ボタンは押し込められません。無理に押さないでください。
- ノーマルテープ (TYPE1) をお使いください。(P4 参照)

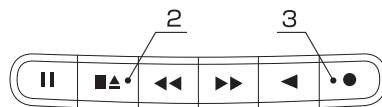
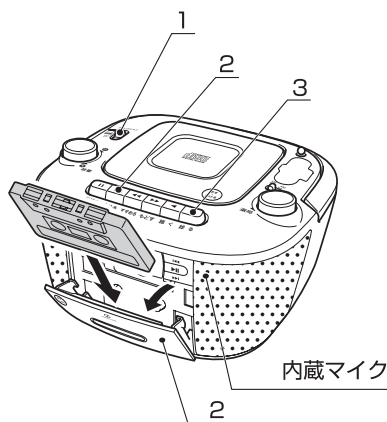
## 録音済みのテープの誤消去防止のために

カセットテープ背面にあるツメをドライバーなどで根本から折っておくと、録音操作ができなくなります。  
接着テープなどで穴をふさぐと再び録音できます。



## 内蔵マイクから録音する

1. ファンクションスイッチを [テープ 電源切] にする。
2. テープ操作部の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。
  - カセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
3. テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押す。
  - テープが走行し録音が始まります。



一時停止 止める すすめる もどす 聴く 録る  
/ 取り出す

## テープ操作部

## 録音レベルについて

録音レベルは自動的に調整されます。  
録音中に音量を変更しても、録音される音声には影響しません。



録音を止める  
テープ操作部の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押す。

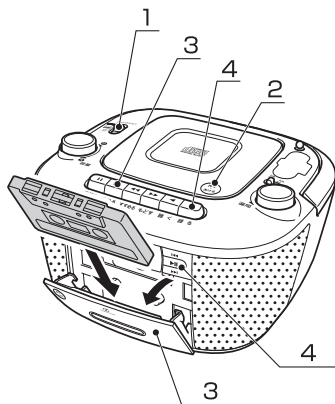
一時停止をする

テープ操作部の「一時停止(II)」ボタンを押す。  
●録音に戻るときは「一時停止(II)」ボタンを押す。

# 録音する

## CDから録音する

1. ファンクションスイッチを[CD]にする。
2. を押してCDドアを開け、CDをセットする。
  - CDドアを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
3. テープ操作部の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。
  - カセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
4. CD操作部の  ボタンを押し、テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押す。
  - テープが走行し録音が始まります。



### 録音を止める

テープ操作部の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押して、CD操作部の「止める(■)」ボタンを押す。

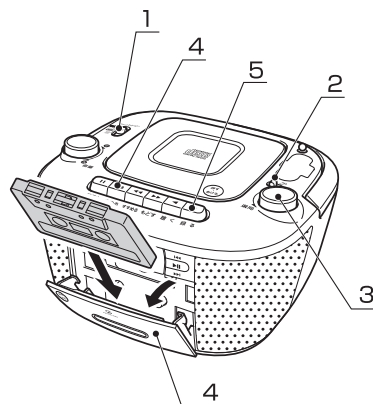
### 一時停止をする

テープ操作部の「一時停止(II)」ボタンを押す。

- 録音に戻るときは「一時停止(II)」ボタンを押す。

## ラジオから録音する

1. ファンクションスイッチを[ラジオ]にする。
2. バンドスイッチで[FMステレオ]または[AM]を選ぶ。
3. 選局ダイヤルで録音したい放送局を受信する。
4. テープ操作部の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。
  - カセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
5. テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押す。
  - テープが走行し録音が始まります。



### 録音を止める

テープ操作部の「止める/取り出す(■▲)」ボタンを押す。

### 一時停止をする

テープ操作部の「一時停止(II)」ボタンを押す。

- 録音に戻るときは「一時停止(II)」ボタンを押す。

# 外部音声機器を聴く

■外部の音声機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

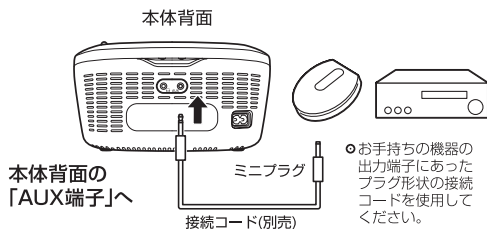
1. 本体背面のAUX端子と外部音声機器の音声出力端子を接続コード(別売)でつなぐ。

2. ファンクションスイッチを [CD/AUX] にする。

- 電源ランプが点灯します。

<ディスプレイ>

AUX



3. 外部に接続した音声機器を再生する。

音量に過不足を感じる時

本機と外部に接続した音声機器の両方の音量を調節する。

※外部に接続した音声機器の出力が小さく、音がうまく聴こえない場合があります。

外部演奏を止める

1. 外部に接続した音声機器を止める。
2. 本機ファンクションスイッチを [テープ **電源切**] にする。

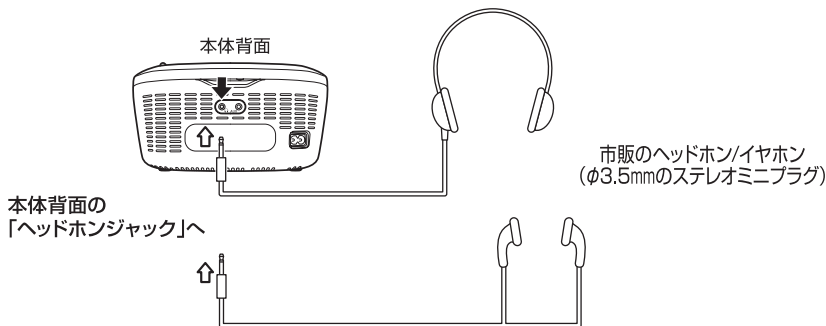
# 市販のヘッドホン/イヤホンで聴く

■市販のヘッドホン/イヤホンをつないで、演奏を聴くことができます。

- ヘッドホン/イヤホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。

ご注意

- ヘッドホン/イヤホンをつなぐときは、本機の音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。





# お手入れのしかた

## 本体のお手入れ

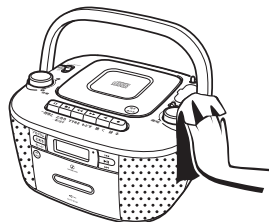
乾いた布などで拭いてください。

### 汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭きとってください。その後、から拭きしてください。

### ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。  
本体を傷める原因となります。



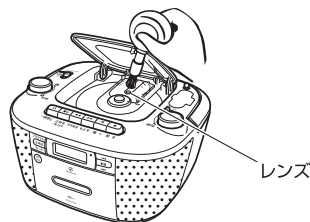
## レンズのお手入れ

### ごみやほこりがついた場合

レンズを市販のプロアーで2~3回吹き、プロアー先端のブラシでごみやほこりをはき出します。最後にもう一度レンズをプロアーで吹いてください。

### ご注意

レンズには指紋や汚れをつけないようにしてください。



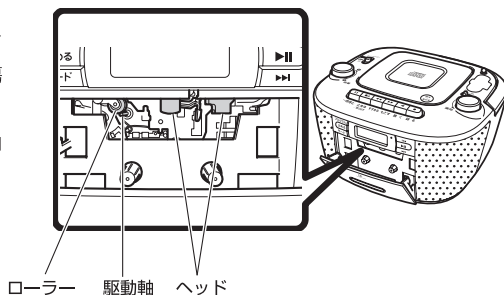
## カセットのお手入れ

### ヘッドや駆動軸、ローラーが汚れた場合

カセットを長い間使っていると、ヘッドが汚れて音が悪くなることがあります。

駆動軸やローラーの表面が汚れるとカセットテープを傷つけることがあります。

市販のクリーニング液を綿棒につけ、ヘッドや駆動軸、ローラーを拭いてください。



# 仕様

## ●CD部

チャンネル数	2チャンネル(ステレオ)
再生可能ディスク	CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット	CD-DA

## ●ラジオ部

受信周波数	FM 76 ~ 108MHz AM 522 ~ 1629kHz
アンテナ	FM ロッドアンテナ AM フェライトバーアンテナ内蔵

## ●カセット部

方式	カセット方式
----	--------

## ●共通部

実用最大出力	1.5W + 1.5W (JEITA)	電池持続時間 (JEITA規格)	ラジオ受信時 約60時間 CD再生時 約20時間 テープ再生時 約40時間
スピーカー	7.6cm (4Ω) × 2	消費電力	15W
入出力端子	ヘッドホン端子 (φ3.5mmステレオミニプラグ) AUX端子 (φ3.5mmステレオミニプラグ)	最大外形寸法	約241 (幅) × 222 (奥行) × 141 (高さ) mm
電源 (2電源方式)	AC100V 50/60Hz (付属電源コード使用時) 電池 DC12V (単2形アルカリ乾電池8本(別売))	質量	約2.1kg (乾電池含まず)
		付属品	電源コード (長さ: 1.4m) 取扱説明書 (本書)、保証書

※本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

# 故障かな？と思われたときは

症状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	電源コードが抜けていませんか？	電源コードを確実に差し込んでください。
	乾電池は正しい方向で入っていますか？	乾電池の +、- を確かめてください。
音が出ない。	ヘッドホン端子にコードが差し込まれていませんか？	コード（ヘッドホン、イヤホンコード）を抜いてください。
CDの演奏が始まらない。 CDが入っているのに「No」「Err」と表示する。	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。
	CDの表裏を間違えていませんか？	ラベル面を上にしてください。
	レンズが汚れていませんか？	お手入れのしかたを参考にクリーニングしてください。(P. 16 参照)
	レンズに露や水滴がついていませんか？	CDを取り出してCDドアを開け、1時間程置いてください。
	CDが汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	CD-R、CD-RWが入っていませんか？	CD-R、CD-RWによっては正常に使用できない場合があります。
CDの音が飛ぶ。	強い振動を与えていませんか？	振動を与えないでください。
	CDがひどく汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	CDに大きな傷はありませんか？	CDを替えて試してください。
	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。
ラジオに雑音が入る。	他の機器のリモコンを近くで使っていないですか？	他の機器のリモコンを離してください。
	テレビの近くで使用していませんか？	テレビから離してください。またはテレビの電源を切ってください。

# 故障かな？と思われたときは

症状	チェックポイント	処置のしかた
テープが入らない。	カセットテープの方向を間違えていませんか？	テープの向きを確かめ正しく入れなおしてください。
テープの回転ムラがある。	乾電池をご使用ですか？	すべての乾電池を、新しい乾電池と交換してください。
	テープに異常はありませんか？	テープがたるんでいるときは、テープ全部を早送りで、巻き直ししてください。
	テープが巻き付いていませんか？	ローラー部や駆動部が汚れているときは清掃してください。
テープの再生音が歪む。	ハイポジション、メタルポジションテープを使っていませんか？	ノーマルポジションテープを使用してください。
テープの再生音が悪い。	ヘッド部が汚れていませんか？	市販の綿棒や柔らかい布でヘッド部を定期的に清掃してください。
「録る(●)」ボタンがおせない。	カセットの誤消去防止ツメが折れていませんか？	ツメの折れていないカセットを使うか、接着テープで穴をふさいでください。
カセットテープが取り出せない。	テープが絡んでいませんか？	無理な取り出しをせず、お買い上げの販売店か小泉成器株式会社「修理センター」に修理を依頼してください。

# アフターサービスについて

## 1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。  
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## 2. 修理を依頼されるとき


- 保証期間中は  
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは  
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

## 3. 補修用性能部品の保有期間

- CDステレオラジカセの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。  
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の音響機器の点検を！	
	ご使用の際 このようなことは ありませんか	<ul style="list-style-type: none"><li>●電源コードや電源プラグが異常に熱い。</li><li>●電源コードに深いキズや変形がある。</li><li>●コゲくさい臭いがする。</li><li>●その他の異常、故障がある。</li></ul>	ご使用 中 止
			このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

## お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

(利用目的)

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。

尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

(業務委託の場合)

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

## お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

### ご意見・ご質問について

#### お客様相談窓口



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

### 修理に関するお問い合わせ

#### 東日本修理センター



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048 (718) 3340 FAX.048 (718) 3350

#### 西日本修理センター



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3145 FAX.06 (6613) 3196

### 部品に関するお問い合わせ

#### 部品センター



ナビダイヤル  
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3211 FAX.06 (6613) 3299

## 小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号  
TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30  
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2015年10月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)